

# 2022年度 冬季審判講習会

---

2023年2月25日

麻生区ジュニアサッカー連盟  
審判部

# 本日の流れ

---

## テーマ

「オフサイド・ハンドの反則に強くなろう！」

～競技規則の精神に則り、正しく適用する～

- 1 はじめに
- 2 オフサイド・ハンドの反則に強くなろう！
  - (1) オフサイド
  - (2) ハンド

---

# 1 はじめに

# 審判員の定義

競技規則および「サッカー競技の精神」に従って

- ・ その能力の最大を尽くして
- ・ 競技規則の枠組の範囲で与えられた裁量権をもって決定する存在

4種のコーチングに置き換えると・・・

勝利を目指して**全力を尽くす選手たち**に対して

- ✓ 選手たちが**最大限にサッカーに集中し**
- ✓ 選手たちが競技規則を**主体的に守ってプレーするよう促す**存在

# 審判員の定義

そのような存在となるためには、競技規則の理解・適用・浸透の3つのステップが重要。

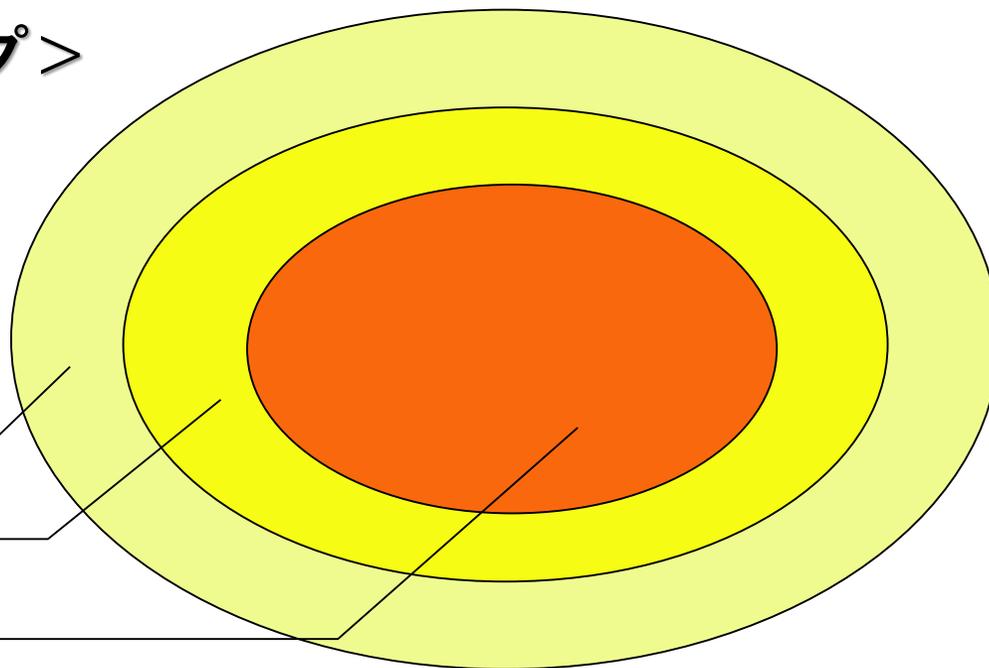
**<求められる存在となるために必要な  
サッカー審判員の3つのステップ>**

競技規則の . . .

理解

適用

浸透



# 審判員の定義

そのような存在となるためには、競技規則の理解・適用・浸透の3つのステップが重要。

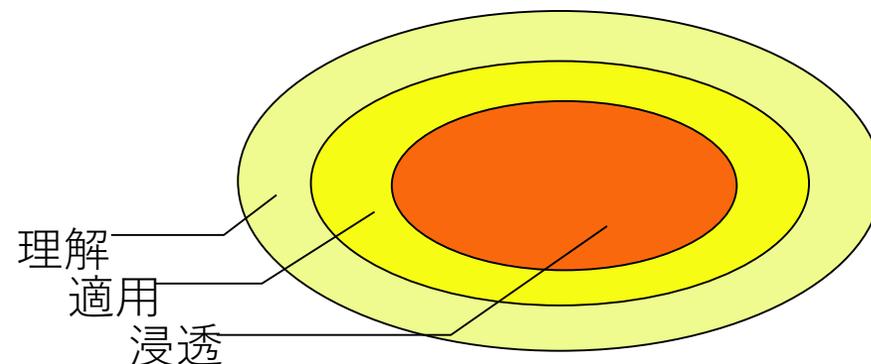
## <サッカー審判員の3つのステップ>

理解：競技規則を、その理念や背景も含め正しく理解すること。

適用：目の前の事象に規則をスピーディかつ正しく適用すること。

浸透：毅然とした態度、明確なシグナルで、競技者にルールを浸透させること。

本日は、「**適用**」を意識した内容になります。



---

## 2 オフサイド・ハンドの反則 に強くなろう！

# (1) オフサイド

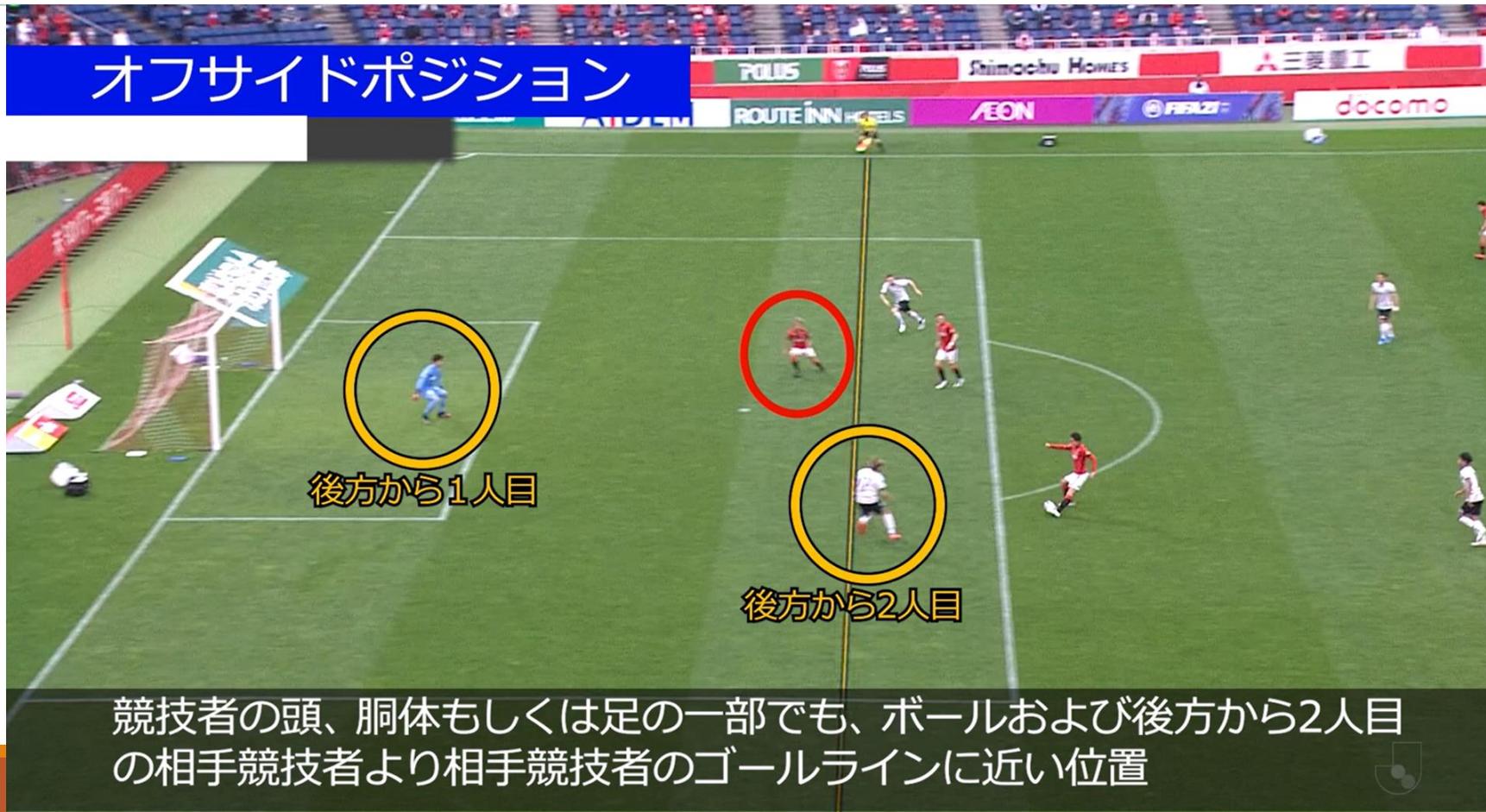
---

- ① オフサイドポジションとは
- ② オフサイド成立の3要件
- ③ オフサイドにならない事例
- ④ オフサイドの判定例
- ⑤ オフサイドラインキープの重要性
- ⑥ 意図的なプレーによって利益を得る例外

# ① オフサイドポジションとは

- 「頭、胴体もしくは足の一部」が**相手競技者のハーフ内**にある
- 「頭、胴体もしくは足の一部」が**ボールおよび後方から2人目の相手競技者よりゴールラインに近い**

【図解】



## ② オフサイド成立の3要件

ボールが味方競技者によって**プレー・触れられた瞬間**に、オフサイドポジションにいる競技者が、以下の状況で罰せられる

- **プレーを妨害する**（ボールをプレーする、または触れる）
- **相手競技者を妨害する**（視線を遮る、ボールに向かう相手にチャレンジするなど、自身の行動が相手競技者に影響を与える）
- **その位置にいることによって利益を得る**（ボールが跳ね返った、セーブされた）

### 【注釈】 オフサイド成立後の再開方法

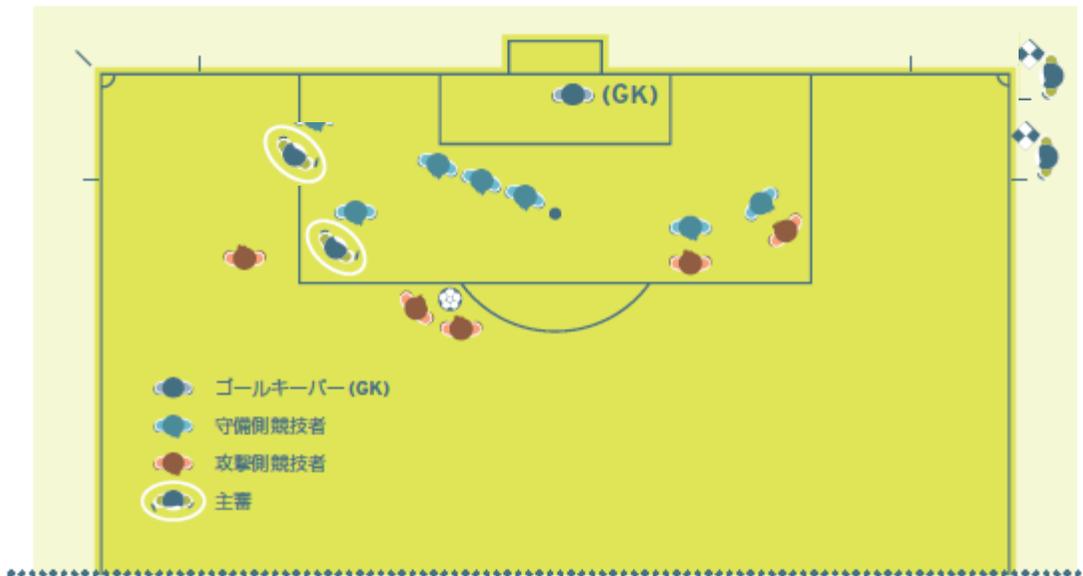
その競技者のハーフであっても、**反則が起きたところ**から行われる**間接フリーキック**を与える

### ③ オフサイドにならない事例

次のことからボールを直接受けたとき、オフサイドにはならない

- ゴールキック
- スローイン
- コーナーキック

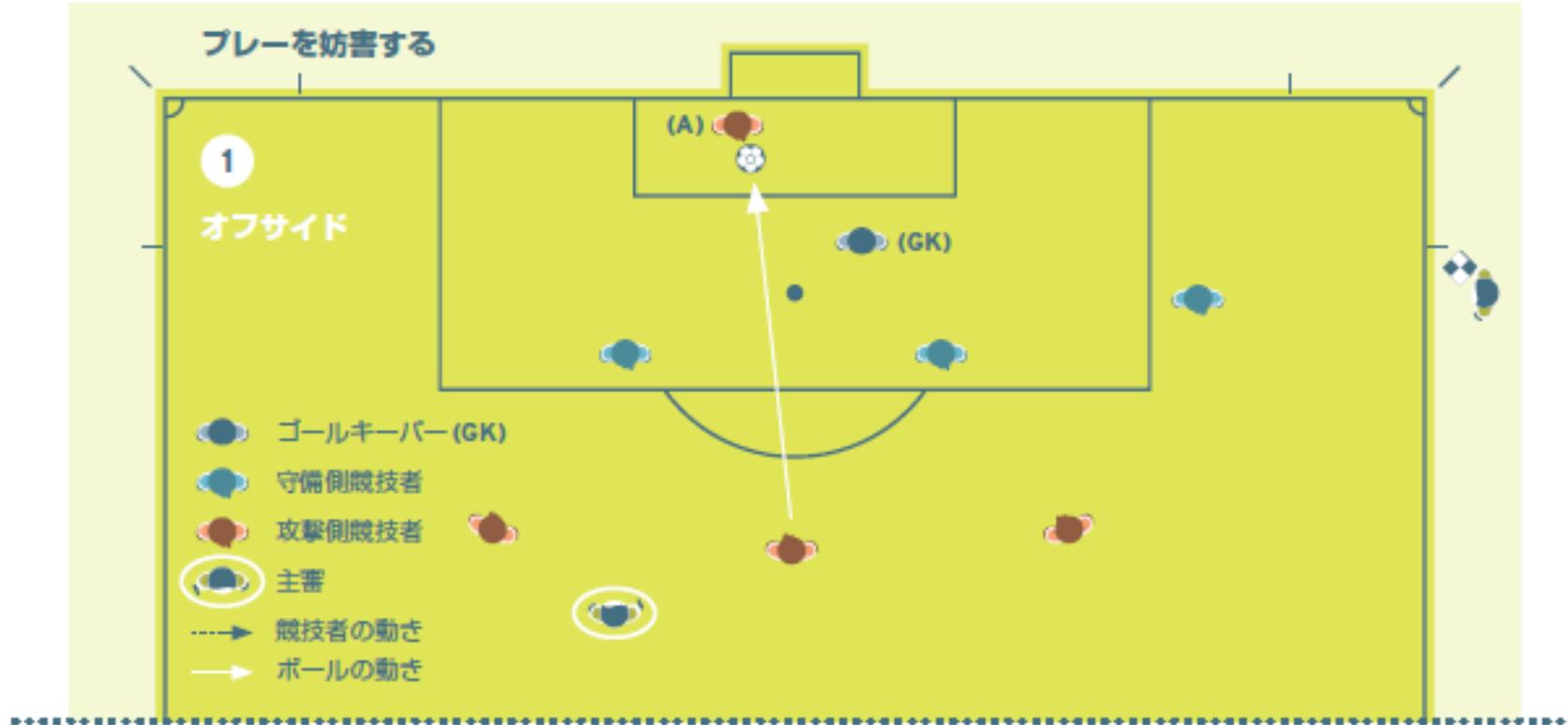
【注釈】 ゴール前のフリーキックにおけるレフェリーポジション



## ④ オフサイドの判定例

次のシーンはオフサイドとなるか、3要件のうちどれか

### 【例①】

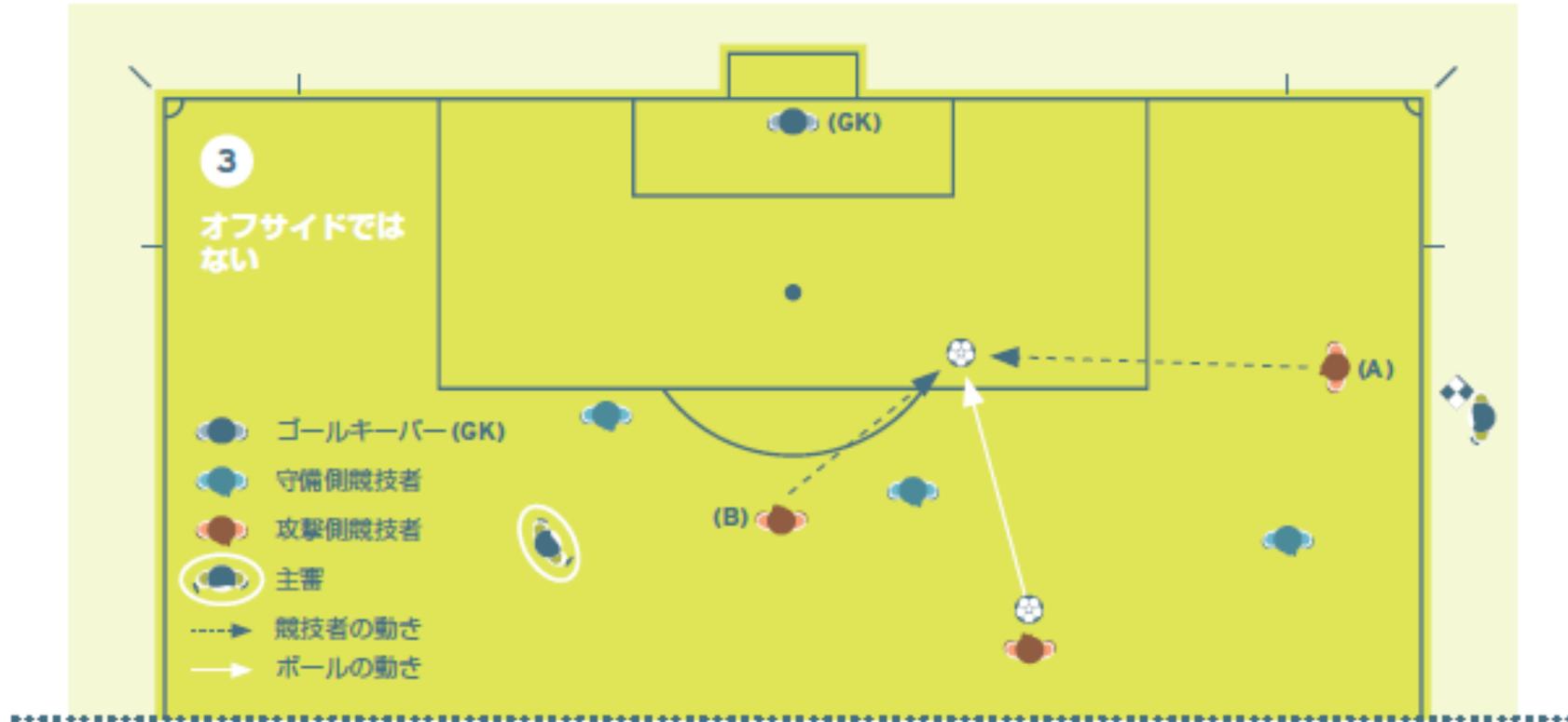




## ④ オフサイドの判定例

次のシーンはオフサイドとなるか、3要件のうちどれか

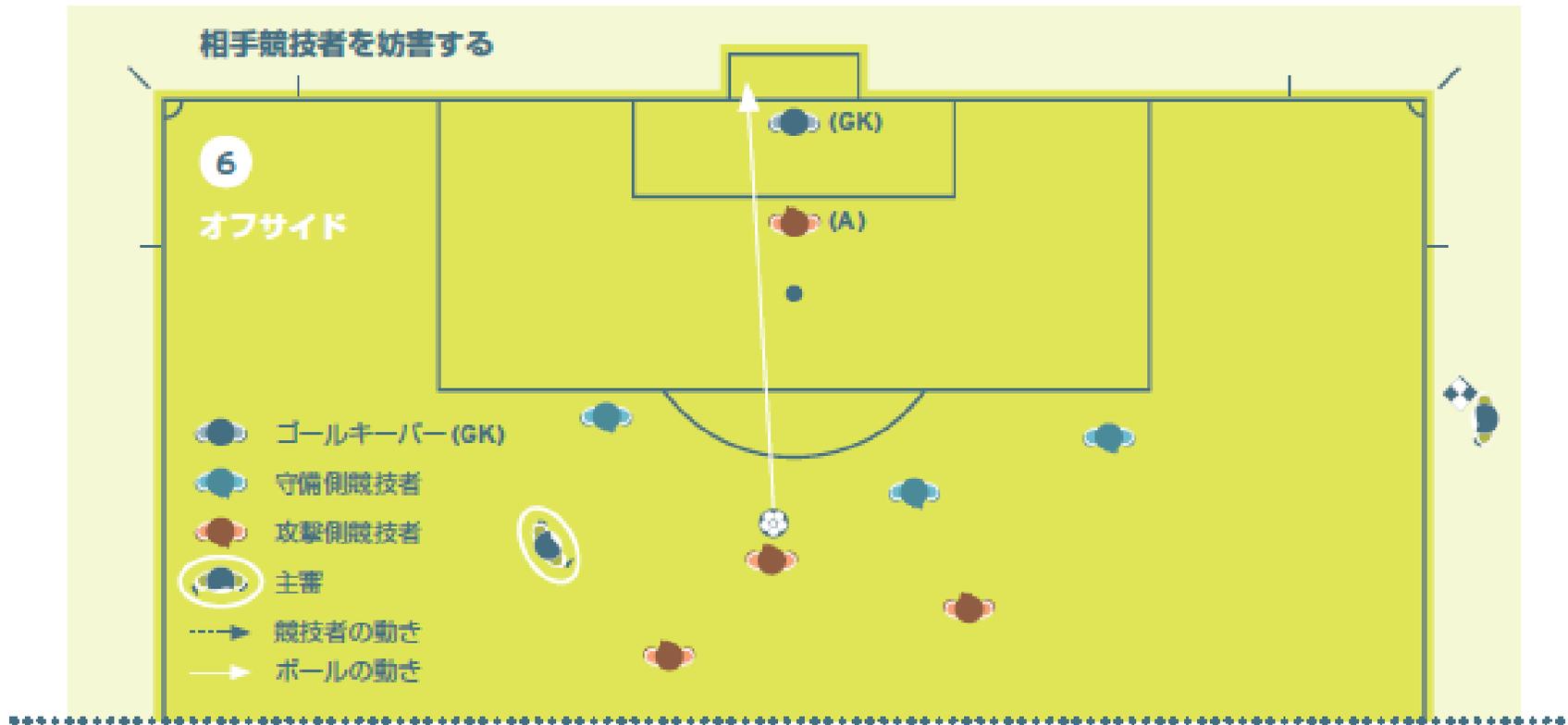
【例③】 攻撃側競技者 (A) がボールに向かって走った。オンサイドポジションにいた味方競技者 (B) もボールに向かって走って、ボールをプレーした。(A) はボールに触れなかった



## ④ オフサイドの判定例

次のシーンはオフサイドとなるか、3要件のうちどれか

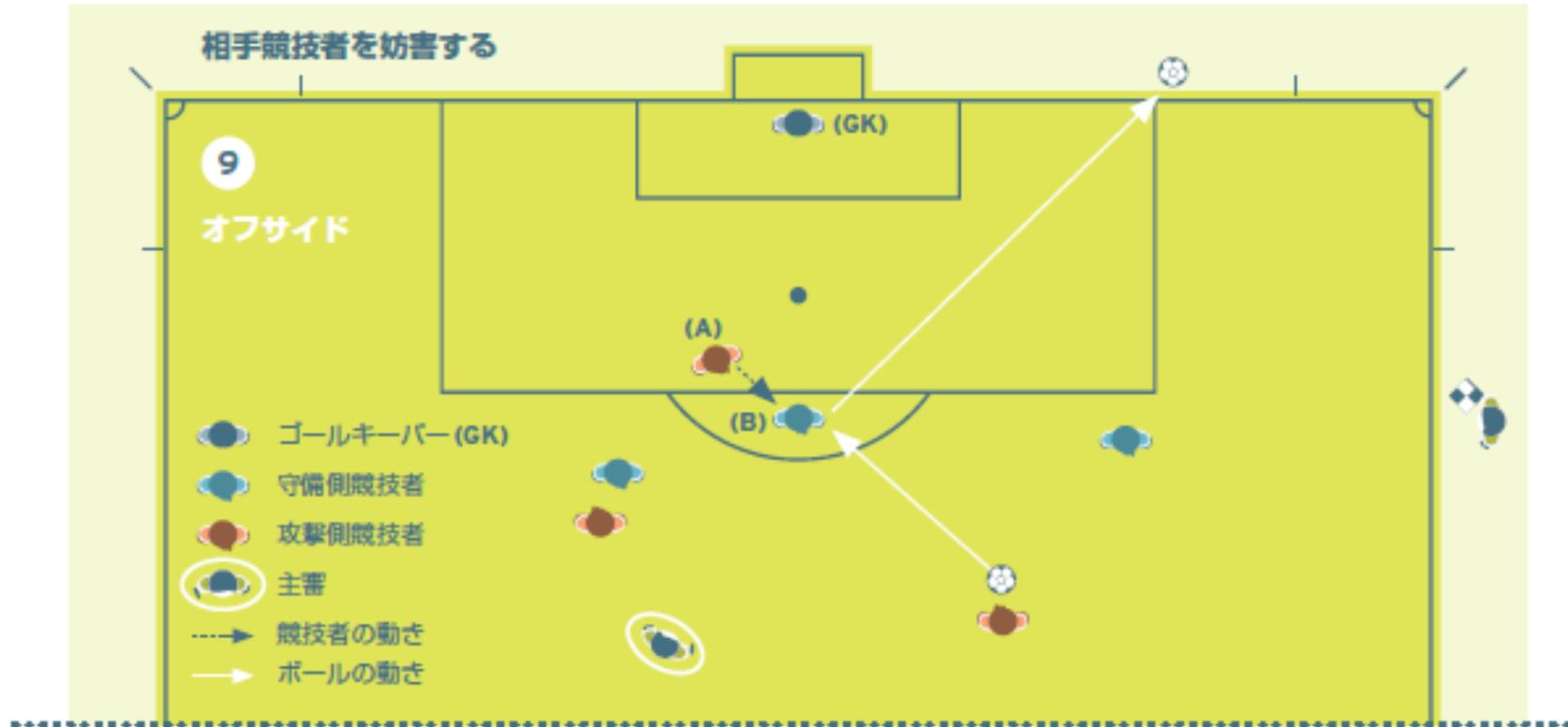
【例④】 攻撃側競技者 (A) がオフサイドポジションにおいて、ゴールキーパーの視線を明らかに遮った。



## ④ オフサイドの判定例

次のシーンはオフサイドとなるか、3要件のうちどれか

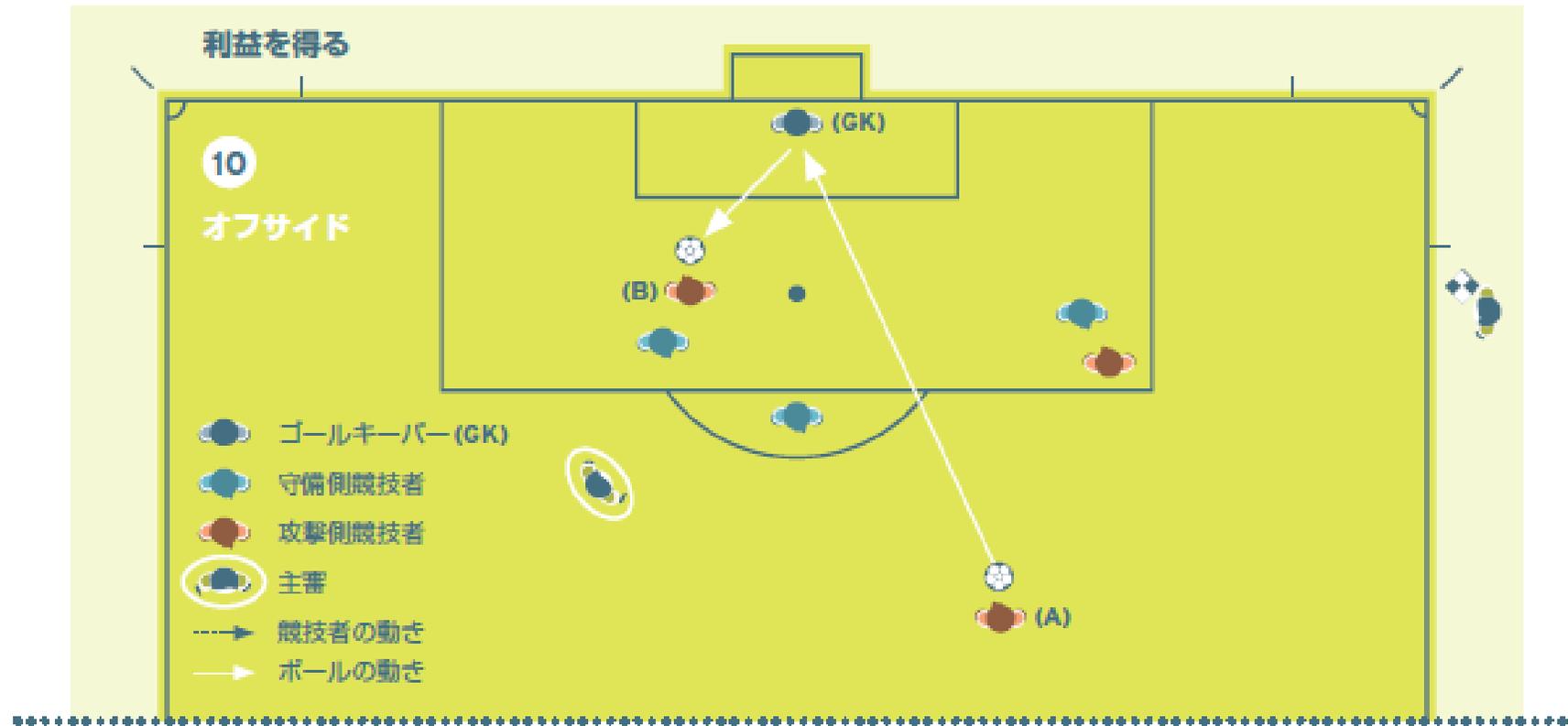
【例⑤】 攻撃側競技者 (A) はボールに向かって走り、ボールへ向かう相手競技者 (B) にチャレンジし、妨げた。



## ④ オフサイドの判定例

次のシーンはオフサイドとなるか、3要件のうちどれか

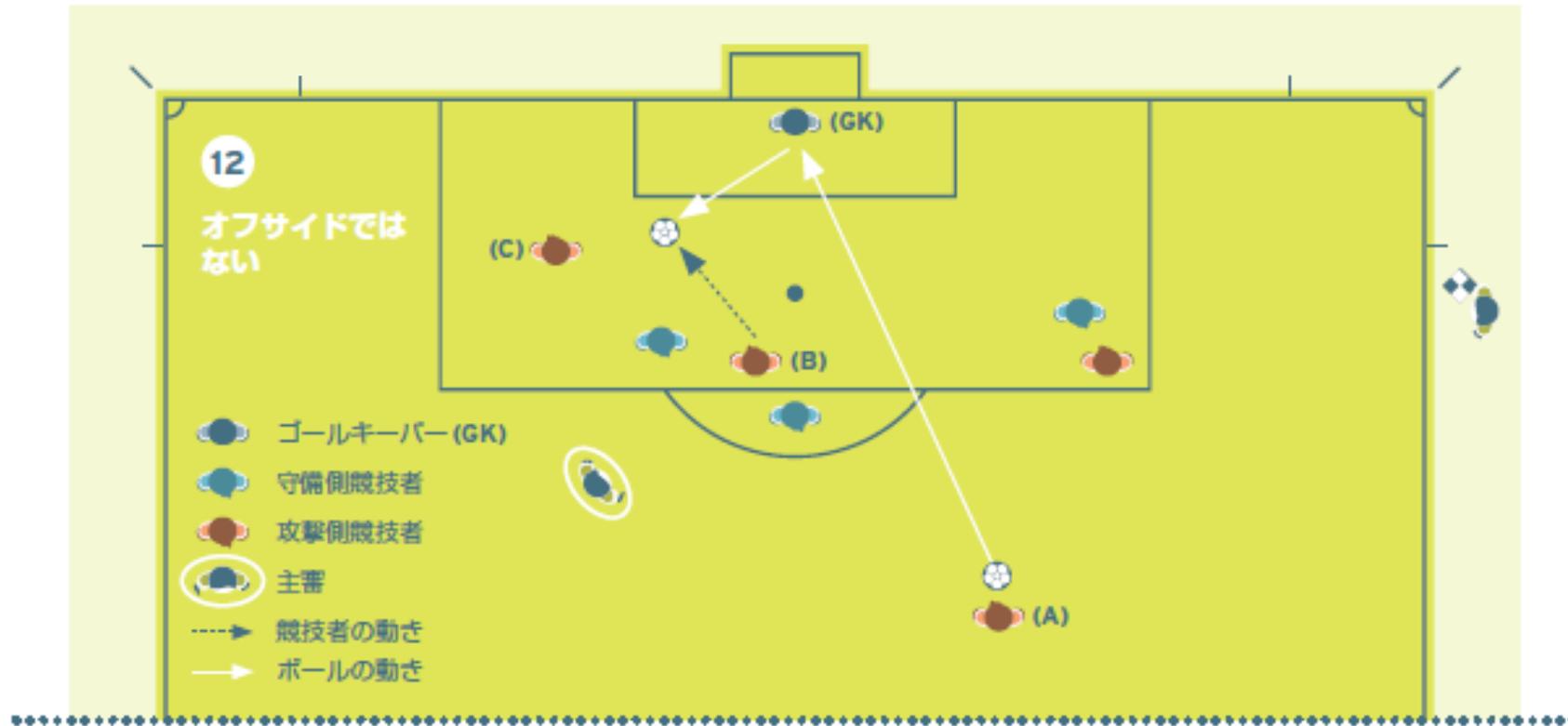
【例⑥】 ゴールキーパーの意図的なセーブによって、はね返った、方向が変わった、またはプレーされた。攻撃側競技者(B)は既にオフサイドポジションにいて、ボールをプレーした



## ④ オフサイドの判定例

次のシーンはオフサイドとなるか、3要件のうちどれか

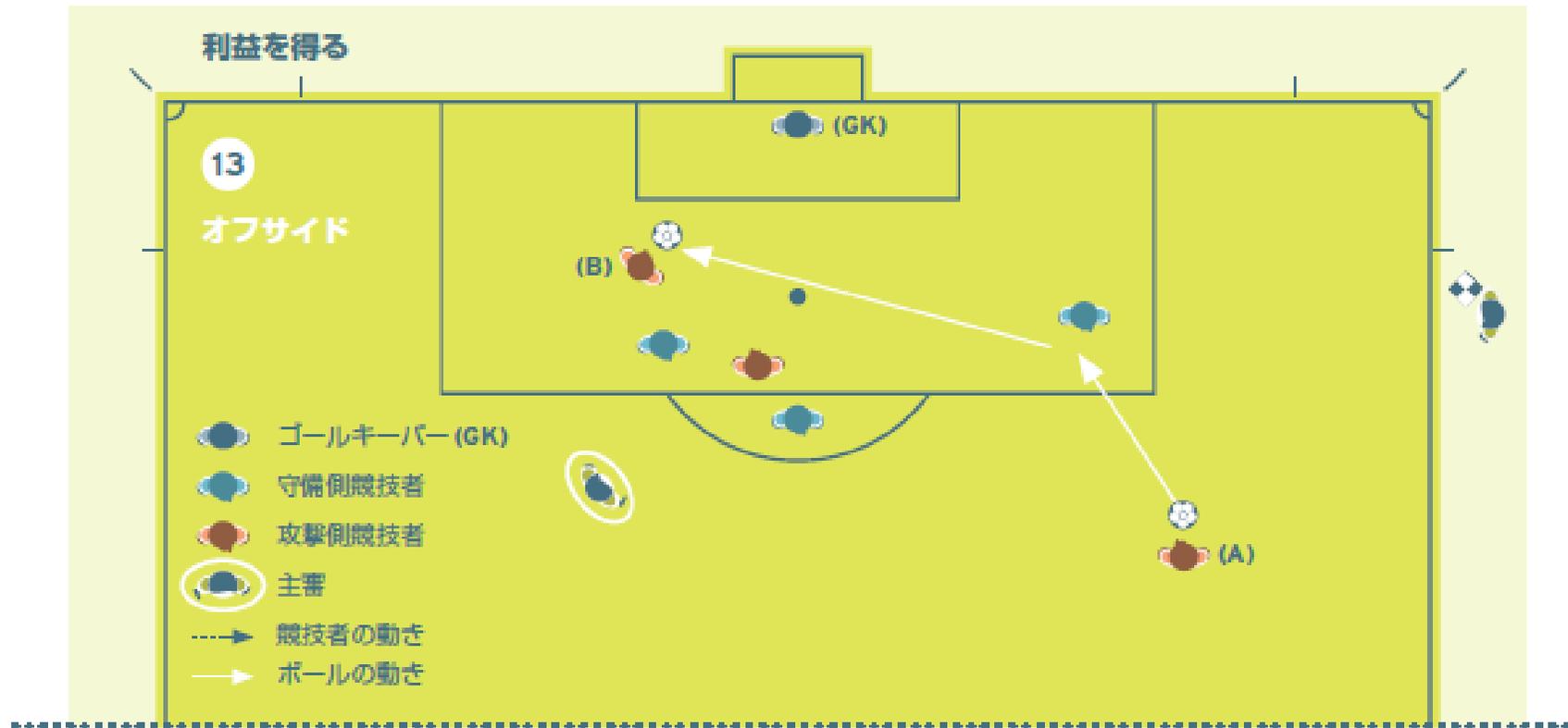
【例⑦】 (A) がシュートしたボールがゴールキーパーからはね返って、オンサイドポジションにいた競技者 (B) がボールをプレーした。



## ④ オフサイドの判定例

次のシーンはオフサイドとなるか、3要件のうちどれか

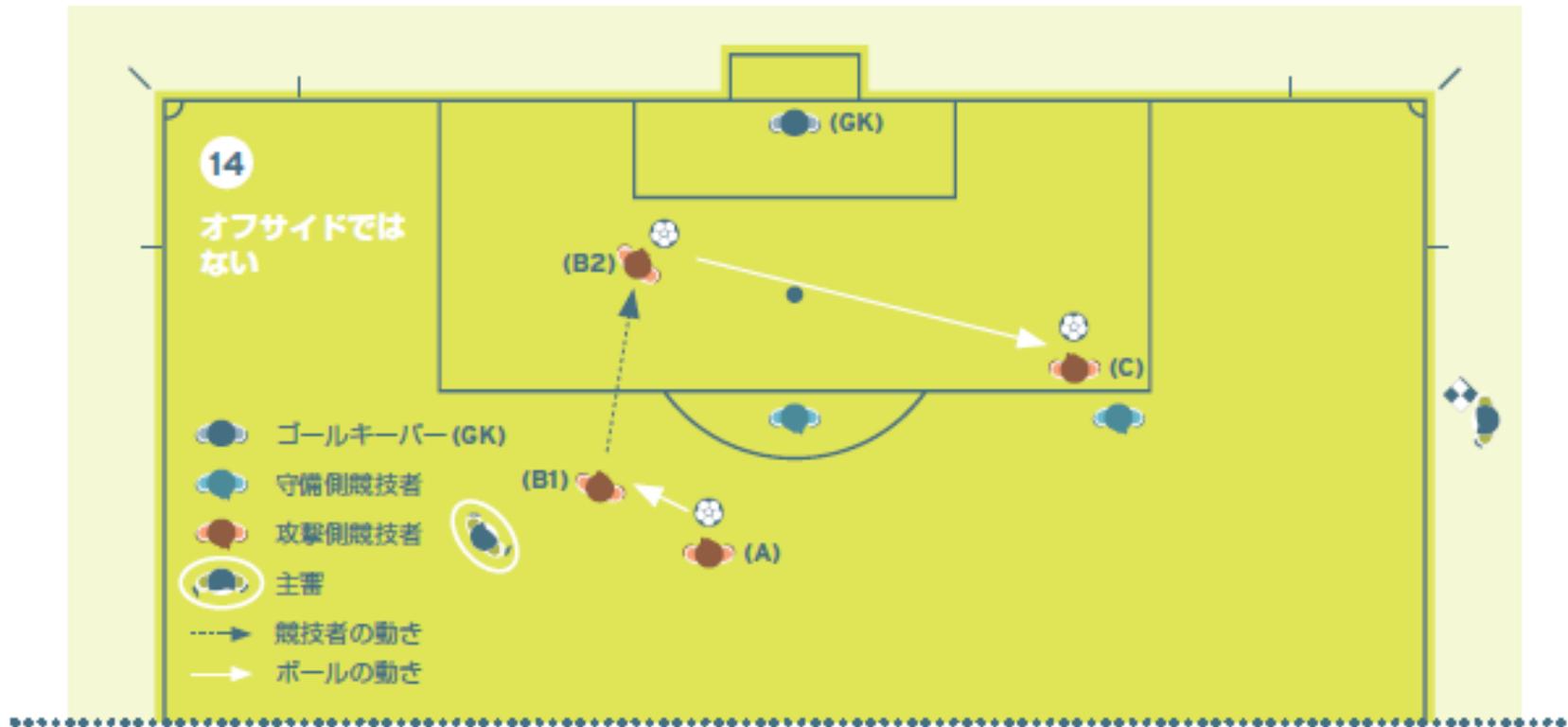
【例⑧】 (B) は、味方競技者 (A) がシュートして相手競技者からはね返ったボールをプレーした



## ④ オフサイドの判定例

次のシーンはオフサイドとなるか、3要件のうちどれか

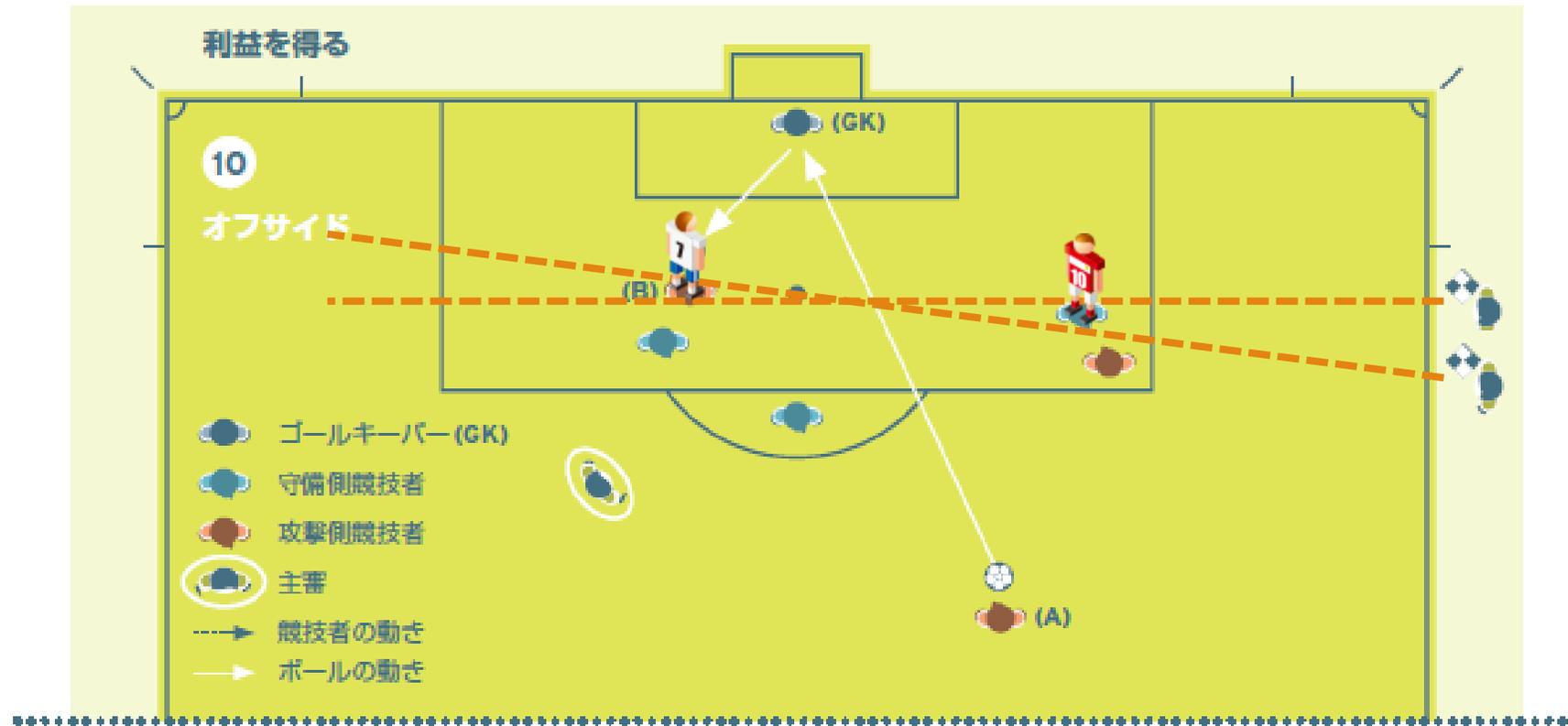
【例⑨】 (A) がオンサイドポジションにいる競技者 (B1) にボールをパスし、競技者 (B1) は相手ゴールに向かって (B2) まで走り、ボールを味方競技者 (C) にパスした



## ⑤ オフサイドラインキープの重要性

審判のポジションがオフサイドラインから外れる（遅れる）ことで、競技者の前後関係の「観え方」が変わる。

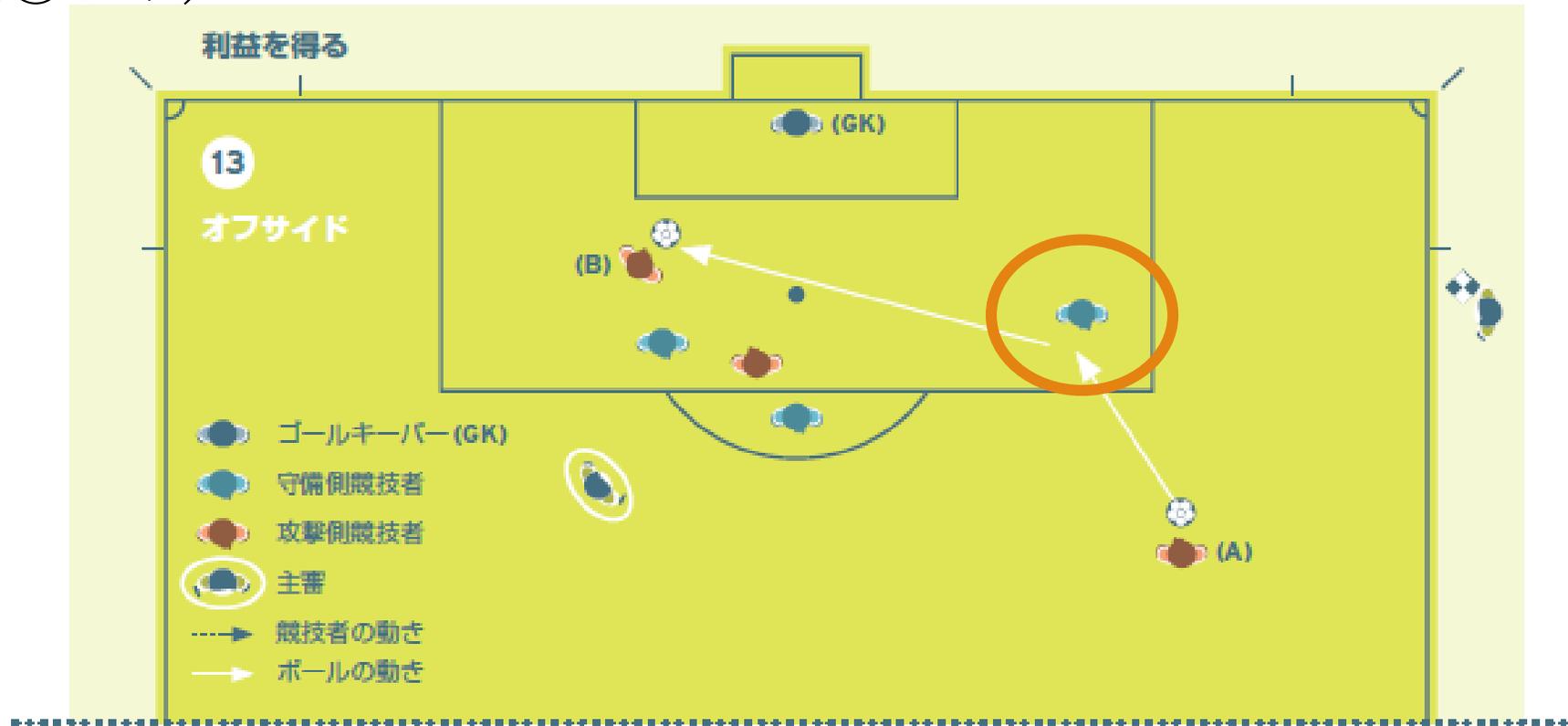
### 【図解】



## ⑥ 意図的なプレーによって利益を得ることの例外

守備側競技者が**意図的にプレー**したボールを受けたとき、意図的なハンドの反則を行った場合も含め、利益を得ているとはみなされない。

【図解】 (例⑧より)



## ⑥ 意図的なプレーによって利益を得ることの例外

守備側競技者が**意図的にプレー**したボールを受けたとき、意図的なハンドの反則を行った場合も含め、利益を得ているとはみなされない。

### 【解説】

「意図的なプレー」とは、

**競技者がボールをコントロール下**において、次のプレーができることである。

- ボールを**味方競技者にパス**する
- ボールを**保持**する
- ボールを**クリア**する（例えばボールをけて、またはヘディングして）

## ⑥ 意図的なプレーによって利益を得ることの例外

守備側競技者が**意図的にプレー**したボールを受けたとき、意図的なハンドの反則を行った場合も含め、利益を得ているとはみなされない。

### 【解説】

「意図がある」ことを示す基準は、

- ボールが**長く移動した**ので、競技者はボールをはっきりと見えた
- ボールが**速く動いていなかった**
- ボールが**動いた方向が予想外ではなかった**
- 競技者が**体の動きを整える時間があった**、つまり、反射的に体を伸ばしたりジャンプせざるを得なかったということでもなく、または、かろうじてボールに触れたりコントロールできたということではなかった
- グラウンド上を動いているボールは、空中にあるボールに比べてプレーすることが容易である

[▶動画で確認](#)

## ⑥ 意図的なプレーによって利益を得ることの例外

守備側競技者が**意図的にプレー**したボールを受けたとき、意図的なハンドの反則を行った場合も含め、利益を得ているとはみなされない。

### 【具体的な適用法】

意図的であることを示す各基準について評価し、主審の裁量で決定する。

	意図的なプレー			ディフレクション		
ボールとの距離	遠い					近い
ボールの視認	はっきり見えた					はっきり見えない
ボールスピード	遅い					速い
ボールの方向	想定内					予想外
態勢を整える時間	長い					短い
ボールへの接触	十分に触れる					わずかに触れる
ボールの位置 (プレーの容易さ)	グラウンド上			空中		

## ⑥ 意図的なプレーによって利益を得ることの例外

守備側競技者が**意図的にプレー**したボールを受けたとき、意図的なハンドの反則を行った場合も含め、利益を得ているとはみなされない。

### 【動画研究】

	意図的なプレー			ディフレクション		
ボールとの距離	遠い					近い
ボールの視認	はっきり見えた					はっきり見えない
ボールスピード	遅い					速い
ボールの方向	想定内					予想外
態勢を整える時間	長い					短い
ボールへの接触	十分に触れる					わずかに触れる
ボールの位置 (プレーの容易さ)	グラウンド上			空中		

## (2) ハンド

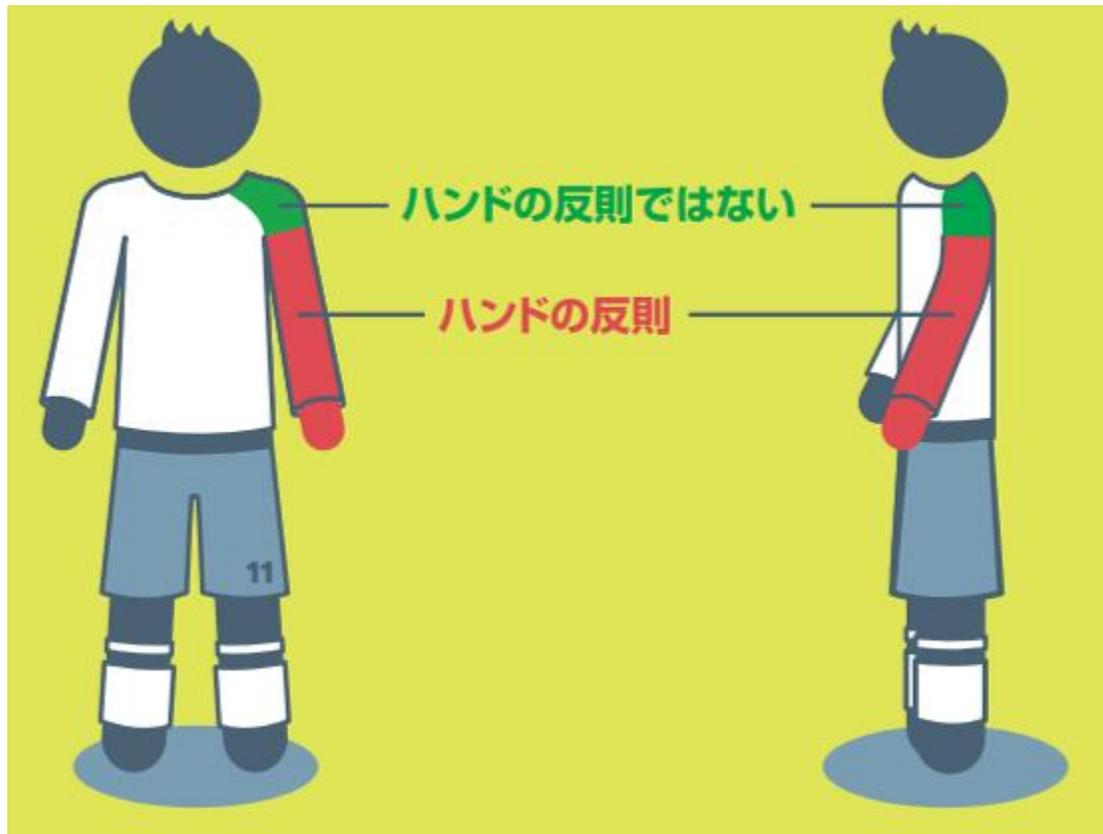
---

- ① 腕の上限
- ② ハンドの反則の成立

## ① 腕の上限

腕の上限は、**脇の下の最も奥の位置までのところ**とする。競技者の手や腕にボールが触れることのすべてが、反則にはならない。

### 【図解】



(参考) オフサイドポジション  
競技者の手や腕は、含まれない。オフサイドの反則を判定するにあたり、腕の上限は、脇の下の最も奥の位置までのところとする。

⇒こちらも左図を参照

## ② ハンドの反則の成立

- 状況による判定（大原則）
- 身体的な判定

で成立する

### ■ 状況による判定

- ・ 手や腕をボールの方向に動かす場合を含め、手や腕を用いて意図的にボールに触れる
- ・ 偶発的であっても、手や腕から相手チームの**ゴールに直接得点**する
- ・ 偶発的であっても、ボールが自分の手や腕に触れた**直後に相手競技者のゴールに得点**する

### ■ 身体的な判定

- ・ 手や腕を用いて**体を不自然に大きくした**

~~✓競技者の手や腕が肩の位置以上の高さにある場合はファウル。ただし、~~~~✓競技者自身・近くに別の競技者の頭または体から直接触れる~~~~✓手や腕を用いて体を不自然に大きくしていない~~~~✓競技者が倒れ体を支えるために手や腕が体と地面の間にある~~場合はノーファウル。

⇒ [21-22競技規則改正映像（0:00～7:00）](#)

## ② ハンドの反則の成立

- 状況による判定（大原則）
- 身体的な判定

で成立する

### 【事例研究】

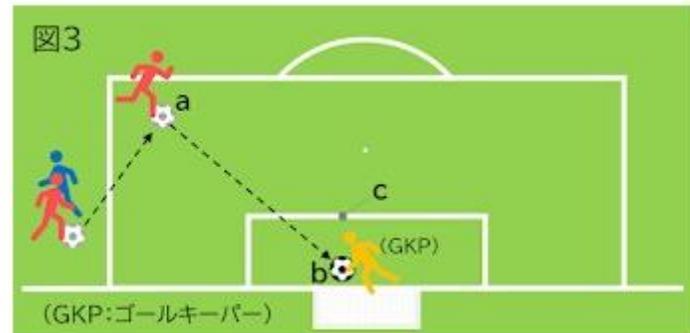
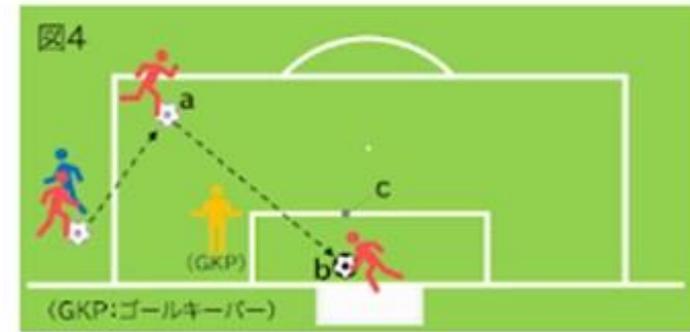
①競技者が意図的に足で味方ゴールキーパーにパスをした。しかし、パスの意図が合わずボールがゴールに入りそうになった。あわてて、別の味方競技者が自陣ゴールエリア内のボールを手で止めた。

**DOGSO**

**PK 守備側競技者を退場**

②競技者が意図的に足で味方ゴールキーパーにパスをした。しかし、パスの意図が合わずボールがゴールに入りそうになった。あわてて、ゴールキーパーが自陣ゴールエリア内のボールを手で止めた。

**間接FK GKへの懲戒ナシ**



# 麻生区ジュニアサッカー連盟審判部

## 審判部

田中 審判部長 真福寺FC  
安藤氏 百合丘子どもSC 審判担当  
加藤氏 南百合丘SC 代表  
川崎市サッカー協会副理事長  
酒井氏 真福寺FC  
馬場氏 柿生SC  
渡邊氏 柿生SC

## 主な活動内容

- (1) 審判講習会(座学4月)
- (2) 春季低学年大会麻生地区予選
- (3) NKリーグ5年生大会
- (4) 審判講習会(実技9月、座学10月)
- (5) NKリーグ3年生大会
- (6) 新人戦5年生大会麻生地区予選
- (7) トレセン大会審判派遣

## レフェリー サポーター

10名程度 麻生区の各チームより有志



# 麻生区レフェリーサポーター制度について

## 一緒に、レフェリー、やろう！

麻生区では、主催大会を数多く実施しています。子どもたちの熱い戦いをサポートし、成長を支える黒子となるのがレフェリーです。

ぜひ私たちと一緒に、麻生区のジュニアサッカーを盛り上げませんか！

### <募集概要>

- **主管** : 麻生区ジュニアサッカー連盟（以下「連盟」） 審判部
- **活動内容** : 連盟主催試合・トレセン試合の審判対応、審判講習会補助 等
- **参加要件** : 連盟所属チーム関係者（コーチ、父母、選手、OB）であり、所属チームの了承のもとで活動を許される方。  
サッカー審判員資格を保有している方。（今後取得を検討されている方も応相談）
- **応募方法** : 連盟審判部 田中までメールにて応募ください [becks.hajime@gmail.com](mailto:becks.hajime@gmail.com)

ご清聴、ありがとうございました！

---



麻生区ジュニアサッカー連盟  
審判部 田中

ルールに関するご質問等お気軽にお問い合わせください  
[becks.hajime@gmail.com](mailto:becks.hajime@gmail.com)